

公共事業再評価調書（再々評価）

所管課：道路街路課

1 事業概要	事業名：都市計画道路3・2・13号南風原中央線街路事業		前再評価年度：平成21年度	
	事業種別：街路事業	事業主体：沖縄県		(H12～H24)
	事業箇所：南風原町	根拠法令：都市計画法		事業期間：H12～H28
	総事業費(百万円)	(10,242) 11,519	費用内訳：補助 9/10	(L=880m W=29m,30m) 事業量：L=880m W=29m,30m
(整備目的)	当該路線は、南風原町内の中心地区を通過し、那覇都心へアクセスする重要な幹線街路である。しかし、交通容量不足から交通渋滞が著しく、また、歩道幅員も狭小である。また、兼城交差点は、主要渋滞箇所となっており、早急に整備する必要がある。そのため、道路拡幅改良し交通渋滞の緩和と安全で快適な歩行空間の形成を図るものである。			
1-2 前再評価以降の計画変更	事業期間及び事業費の変更を行った。			
2 再評価該当項目	<input checked="" type="checkbox"/> ① 再評価後一定期間（5年）を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業の中止 <input type="checkbox"/> ③ その他（ ）			
3 再評価に至った主な要因 (具体的理由)	<input type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期間 <input type="checkbox"/> ⑨ その他（ ） ・現道路内にはさまざまな占有物が存在しており、拡幅工事によりこれらの占有物に関して、占有管理者がの移設に時間を要している。特に、南風原町管理の雨水配水管に関して、当初予定していた工法では隣接する建物に影響が出ることから、工法を変更したため時間を要している。			
4 事業の進捗状況 (H26.3末時点)	項目	事業費(百万円)	整備延長(m)	用地取得(千㎡)
	計画	11,519	880	10.3
	実施済	11,199	620	10.3
	率	97%	70%	100%
4-2 前再評価以降の主な進捗	・全ての用地買収を完了した。 ・交差点工事の影響範囲外については、車道及び歩道整備を行った。			
5 事業効果の評価指標 (検討年 50年) (基準年 H26) (単位: 百万円)	① 走行時間短縮 68,561 ② 走行経費低減 7,046 ③ 交通事故減少 -1,200  総便益 74,407 基準年換算 (B) 29,277	① 事業費 17,149 ② 維持管理費 150  総費用 17,299 基準年換算 (C) 22,200	費用便益比 (B/C) = 29277 / 22200 = 1.3 (南風原町中央線1工区及び2工区で計算)	
6 事業を巡る状況の変化 (前再評価以降)	① 社会・経済：・道路事業で事業中である、南風原中央線と連結する宜野湾南風原線(崎山町～兼城工区)は、平成27年度の完了を目指し事業中である。 ・南風原中央線と連結する宜野湾南風原線(喜屋武地区)が、道路事業で平成22年度から事業化されている。 ② 地元・自治体：・特になし。 ③ 利害関係者：・特になし。			
7 事業の必要性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 当該路線の沿線付近においては、南風原町役場、商業施設、小学校、中学校等があるが、現道の歩道幅員が狭小で危険であるため、快適な歩行空間の形成を図る必要がある。 また当該路線は事業中の他工区を含め交通渋滞が慢性化しており、地域の経済活動の支障となっている。そのため、当該路線の整備を早急に進めることにより、那覇空港自動車道や他の幹線道路への円滑な移動確保による渋滞緩和を図る必要がある。 ② 事業の効率性(代替案等の可能性やコスト削減)： 当該事業区間において、平成25年度末には事業の進捗率が用地取得ベースで100%となっていることから、現計画の推進を図ることが効率的である。 ③ 事業効果の発現状況： 用地取得済み箇所から歩道及び車道の整備を行っており、歩道が拡幅された箇所に関しては、安全な歩行空間が確保されている。兼城交差点については、来年度、工事が完了する予定である。			
8 今後の対応・見通し	① 事業計画等：現計画どおり事業を進め、平成28年度の完成を目指す。 ② 対住民関係：特になし。 ③ 執行体制等：現体制で取り組む。			
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止			
10 その他 (前再評価での主な意見等)	・用地はほぼ解決しているのに、整備率が極端に低い、用地がある程度解決していれば工事の方も早く進めていただいて、渋滞緩和に役立ててもらいたい。			

\* 1事業概要の上段( )は前再評価時点の計画